

## 第三者評価に係る意見集約シート

平成30年7月24日

第9回会議

資料 3-6

※各意見の区分について

「成果」・・・成果と言える点、評価できる点

「課題」・・・課題である点、改善すべき点

「要望」・・・上記以外の要望等

### I 機能の達成状況

#### (1) 6つの機能

##### ① 拠点機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	達成率の高さは評価できると考えられる。	UMECO企画展における実績値が目標値の3倍であり、達成率の高さは評価できる。
	イ	企画展における実績値は目標値の3倍、出展希望団体も増え、未経験者の団体参加もあり、成果が感じられる。	
	ウ	市民のため、企画展の目的はすばらしい。	
課題	エ	社会貢献活動に対する具体的な方向性が明確でなく、今一つではないかと思う。	UMECO企画展等、事業に参加できる団体が限定されないよう配慮し、その効果を検証するとともに、企業の社会貢献活動等にもその対象を広げていただきたい。
	オ	企画展の枠組みで考えた場合、企業の社会貢献活動の拠点機能としては改善する必要がある。	
	カ	35回の企画展開催回数のうち、必要なものとそうでないものがあつたと思うので、検討すべき。	
	キ	企画展については、市民活動の企画が主で、事業者によるCSR活動の企画がないように思われる。	
	ク	企画展展示に参加する団体が交流センター登録団体約400に対し、40団体ほどで10%程度となっている。他の団体の参加を呼びかけることや支援が必要ではないか。テーマを年中行事などに定めると季節感や華やかさが感じられてイメージアップによいが、参加できる団体が限られるのではないかとと思われる。団体の登録ジャンルや活動の状況・課題などを考慮したものも企画して頂きたい。	
	ケ	「拠点機能」としてどの程度効果があつたかについては検討の余地がある。	
	コ	企画展も含め、常時、全活動団体の活動の様子がわかり、つながりやすくなるような工夫があるとよい。	

##### ② 相談・支援機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	相談に関してはきめ細かい対応がなされており、評価できる。	相談業務については、きめ細かい対応をしていること、相談対応者数を増やす努力をしていることが評価できるので、体制を整え、今後も継続していただきたい。
	イ	相談内容についてきめ細かい対応が伺える。団体への加入も増え、ボランティアやNPO関係の課題にも積極的に対処している。	
	ウ	相談対応者数を増やす努力を評価する。	
	エ	今後も継続していただけたらと思う。	
要望	オ	相談機能は、拠点としての重要な事業と考えるので、体制を整えてほしい。	受けた相談を分析し、また問題解決ができたか効果を検証するとともに、とくに資金面における団体の課題解決に貢献できるよう、相談機能の周知や掘り起こしを図っていただきたい。
課題	カ	資金の確保については、今後に期待したい。	
	キ	「相談」はUMECOの大事な事業である。市民とそれぞれの活動団体をつないだあと、その問題が解決できたかどうか、結果を検証する必要がある。	
	ク	相談業務の考え方の見直し。相談業務があつてこそ、イーパーツパソコン寄贈事業、地域活動団体ネットワーク形成事業としてコーディネートが行えていると思うので、受けた相談の分類が必要と思う。	
	ケ	支援や相談業務がUMECOの機能向上に寄与することを目的としているのであれば、相談件数の「量」のみではなく、相談者の満足度やその後の状況等の調査を行うなど、「質」も含めた評価が必要ではないか。	
	コ	相談概要を見ると、団体照会や加入の橋渡し、ボランティアの希望が多い。団体の事業や活性化、資金等に関する相談が見受けられない。積極的な相談機能の周知や掘り起こしができるとよい。	

### ③協働支援機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案	
課題	ア	にぎやかなイベントも必要だが、さらに何のために実施するか目的を設定し、達成できたか検証することが必要である。	交流により互いを知ったり、団体に発表の場を提供することも重要だが、相互のネットワーク形成につながったかどうかなど、各事業の目的を達成できたかを検証する必要がある。	
	イ	活動団体の発表会の側面が強いように感じる。相互に連携している例を知りたい。		
	ウ	団体間で新たな強みや協働が創出できたのか。交流により、互いを知ることが大切だが、参加する個々の団体が協働に求めるものをリサーチしてコーディネートできるとより深い支援となると考える。		
	エ	「4 市民活動団体と事業者との協働事業」について、多くの来場者が集まったことによる効果が今ひとつ判然としない。		
	オ	事業者との協働事業は、29年度に行われた事業を見るだけで評価を行うのではなく、他にも企業との連携なども研究するべきだと思う。		
	カ	「4 市民活動団体と事業者との協働事業」の対象事業者がシティーモールのみである点は改善の余地がある。		
	キ	「5 地域活動団体ネットワーク形成事業」について、実施団体を拡大することが必要である。また、ネットワーク形成に繋がっているかについては疑問が残る。		
	ク	地域活動団体ネットワーク形成事業において、実施団体に偏りがみられる。活動団体の幅が広がられると良い。		地域活動団体ネットワーク形成事業など、事業を担う団体が偏っていることから、コーディネートする側が社会貢献する団体を増やせるよう、積極的に調整できると良い。
	ケ	「5 地域活動団体ネットワーク形成事業」の対象者が一部団体に極端に偏っている点は改善の余地がある。		
	コ	連携団体に偏りがある。地域活動団体のニーズをより把握し、適合する市民活動団体をマッチングする努力が必要。		
サ	地域活動団体ネットワーク形成事業では、昨年度69件中64件が同じ団体に依頼されており、コーディネートする側がその団体の負担等を考えるべきだと思う。ほかの登録団体で協力してもよいという意向を確認するなど行い、社会貢献に協力してくれる団体を増やすようにコーディネートできるとよいと思う。			

### ④学習・体験機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	各種講座が充実していることは評価できる。	各種講座が充実している点は評価できるが、それぞれの講座の関係性や年間スケジュールを整理し、より効果的な時期や対象、広報手段となるよう精査していただきたい。
課題	イ	各種講座の体系的、関係性、年間スケジュールなどをよりわかりやすくしていくことが必要である。	
	ウ	さまざまな世代を対象とした体験や講座がみられるが、内容によっては参加者が少なかったり、会員数が足りなかったりとばらつきがある。講座によっては内容の精査が必要か。	
	エ	事業数が多い。社会貢献につながる事業を精査すべき。	
	オ	市民活動のきっかけとして大切な機能と考えるので、あらゆる世代に対しての広報の方法を工夫してほしい。	
	カ	参加者の年代について、恒常的な活動につなげるためには、大学生や一般の参加を高めるとよい。	
キ	比較的、センターの稼働率が低く、一般の人でも夏季休暇が取りやすい時期などに講座等を集中的に行うなどの工夫が必要と考える。		
要望	ク	今後も継続し、より発展していくよう努力していただけたらと思う。	

### ⑤交流・コーディネート機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	事業が充実していることは評価できる。	各事業への参加者の増加により、団体同士のつながりや地域活動団体との連携など成果がみられる。
	イ	UMECOの立地条件の良さもあり、交流事業やUMECO祭り等参加者の増加が伺え、団体同士のつながりや地域活動団体との連携など成果がみられる。	

課題	ウ	現行の事業すべてをUMECOが担うかについては検討の余地がある。主体を団体にシフトしていくような取り組みも必要だと考えられる。	現行の事業すべてをUMECOが担うかは検討の余地があり、市民活動団体主催へ移行するような発展があるべきである。
	エ	交流会を始めたいという声が上がった際に協力することは必要だが、うまく回るようになったら、手を放していくことも考えてほしい。	
	オ	UMECO主催から市民活動団体主催へ移行するような発展があるべき。	
	カ	イベントへの参加が継続的具体的な交流になっているか、事後調査などで検証してみるかどうか。予算改善要と自己評価しているが、実行委員会形式で事業展開しているとのことなので、実施手法、予算等について助言・調整を積極的にしたほうがよい。実行委員会形式なので、今後の開催は団体中心にシフトするとよい。コーディネート機能の充実が望まれる。	
	キ	市民活動が楽しそうなことはわかるが、団体からあがった相談内容で交流会の整理を行えるとよいのではないかと。	交流の先にある目標を意識し、市民と社会をつなげる目的達成につながるよう取り組んでいただきたい。
	ク	市民と社会をつなげるという目的の達成に必要な事業を検討すべき。	
	ケ	「交流」の先にあるものは何か。交流・コーディネートそのものは、継続していただけたらと思う。	

## ⑥情報の集約・発信機能

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	さまざまなツールを使っでの情報発信に力を注ぎ効果的である。	さまざまなツールを用いて情報発信を行っているので、今後は企業との連携等、新たな手法を探せると良いのではないかと。 ネットや紙等媒体を問わず反響をリサーチし、有効性や費用対効果の検証を行い、活用をより広げていただきたい。
課題	イ	現状で可能な手法は行っていると思うが、企業との連携など新たな手法を探せると良い。	
	ウ	情報発信においては、ネット・紙等媒体を問わず、反響などについてリサーチを行い、有効性や費用対効果の検証を行う必要がある。	
	エ	UMECOよりも、より市民に身近なものになってほしい。	
要望	オ	とくに問題はないが、事業について各団体にかかわっていただく部分を拡大し、団体の目線での情報発信に努めていただきたい。	
	カ	市民周知のためとても必要な機能であるので、がんばっていただきたい。	
	キ	今後も継続し、活用をより広げていただけたらと思う。	

## (2) その他

### ①男女共同参画

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
課題	ア	行政目的のある事業なので維持すべきだが、単発イベントで終わらないよう展開に工夫は必要である。	重要な問題であるので、単発イベントで終わらせず、また参加者増を目指していただきたい。
	イ	女性の就労支援・起業講座はもう少し参加が見込めると良い。	
	ウ	一度の講演会で終わらず、その後につながるようになることを望む。	
要望	エ	世界共通の問題でもあり、とても重要であるので、ぜひ継続していただきたい。	

### ②国際交流

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	ゆるやかなつながりといった雰囲気楽しさが伝わる。	国際社会とつながる場として、単発イベントで終わらないよう工夫し、展開していただくことを望む。
	イ	国際社会とつながる場となっていると思う。	
課題	ウ	行政目的のある事業なので維持すべきだが、単発イベントで終わらないよう展開に工夫は必要である。	
要望	エ	最近では小田原にも海外からの観光客が増えているので、そういう方をターゲットにしたことが何かできないだろうか。	

## II コンセプトの達成状況

### ①誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	ほとんどの事業が達成率100%を超えており、市民活動を知る・始めるきっかけの場として機能していると伺える。	多くの事業を実施しており、市民活動を知る、始めるきっかけの場として機能していると伺える。
課題	イ	さまざまな事業を実施しているが、市民のために必要なものに絞るべき。	「きっかけ」としての事業は必要なものに絞るとともに、各対象世代に合った対応を図り、最終的に市民活動が社会貢献につながるよう意識していただきたい。
	ウ	楽しそうなイベントが多いのでつながりを生み出すことにはなっているかと思うが、趣味や娯楽の段階でとどまらず、社会貢献につながるかなど社会性が見えてこない印象である。	
	エ	まずは知ることがきっかけにつながっていくと思うので、若年層にはSNSなど、シニア層には紙媒体などと、世代によって「知る」方法が違うことを意識して、イベントの広報をしてほしい。	

### ②シェアしながら それぞれの思いがつながる行動の場

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
成果	ア	活動団体間の交流を通し、思いの共有・つながりが感じられる。	団体間の交流やイベントを通し、思いの共有やつながりが感じられる。
	イ	学んだり楽しめるイベントがあり、とても良いと思う。	
課題	ウ	予算の配分等経費面で課題が残る。	交流会など各事業の目的や効果を明確にし、整理しながら確実に実施して、このコンセプトの達成に向けた事業のレベルアップを図っていただきたい。
	エ	交流会を長く続けていくと、団体にとって負担になることも考えられる。交流会を通じて、どのような効果があるのか、目的を明確にして進めてほしい。	
	オ	整理が必要かと思う。	
要望	カ	もっとレベルアップし、事業の結果まで検証してほしい。	

### ③地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場

区分	項番	第三者評価シート等の意見	評価文案
要望	ア	このコンセプトがUMECOの各事業に最も求められるものだと思う。	このコンセプトがUMECO事業に最も求められるものであるので、より社会貢献活動につながる事業内容を期待する。
課題	イ	地域の課題を明確にし、事業内容を工夫する必要性を感じる。もう少し社会貢献活動につながる事業内容を期待したい。	単なる発表の場の提供ではなく、各主体が相互に協力できる体制をとれるよう工夫し、積極的に支援、コーディネートしていただきたい。
	ウ	地域団体、市民活動団体双方に対して、協働に関する希望などのヒアリング等積極的な支援・コーディネートに取り組む必要がある。	
	エ	一方的な発表の場ではなく、相互協力ができる体制になるように工夫を望む。	
	オ	一番大事である。市民、活動団体、事業者等、どのようにつながることができたか、結果を検証し、社会貢献できたかまとめていただきたい。	



#### まとめ

多くの事業を実施していることは評価できるが、1つ目のコンセプト「誰でも気軽に」に比重が偏っている懸念がある。UMECOに求められる最終的な目標は、3つ目のコンセプト「地域の課題を解決する」であることを再度認識し、事業のバランスを見直していただきたい。

また、事業の効果を客観的に検証するため、アンケート等の活用を検討していただきたい。